

↓新年のあいさつをする実行委員長の田辺治和わかさ東商工会
美浜地区会長



町内各界各層の皆さんと 美浜町新春のつどい

1月5日に、美浜町新春のつどいがなびあすで開催され、約110人が参加されました。

これは、町民の皆さんと一堂に会し、交流を深めることを目的に、町内団体で構成される実行委員会が企画・開催したものです。

当日、田辺実行委員長は「新年を迎え、確かな1歩を踏む1年としていただきたい」と述べていました。

↓作業台で仕分けられる大量の寒ブリ



美浜の冬の風物詩 日向漁港で寒ブリ大漁水揚げ

1月7日に、日向漁港で寒ブリ約1,400匹が水揚げされました。

この日水揚げされた寒ブリは、重さが6kgから大きいものでは約17kgのものもありました。

日向定置網漁業組合の高橋武一組合長理事は「今年も大量のぶりが水揚げできた。今後の水揚げにも期待している」と話されていました。

↓玄関先で祝歌を歌う子どもたち



今年の年は、めでたい年で～ カイロ講

1月6日に、カイロ講が新庄で行われました。

この行事は、無病息災や家内安全を祈り、区内の子どもたちが昔から伝わる祝歌を歌いながら区内の家を回るものであります。

子どもたちは「今年の年は、めでたい年で」から始まる祝歌を声を合わせて歌い、家の人口からお礼のお菓子やお年玉等を受け取っていました。

↓今年1年間の交通安全を祈願する参加者の皆さん



事故のない1年を願って 交通安全祈願祭

1月13日に、交通安全祈願祭が宇波西神社で行われました。

当時は、町や交通指導員連絡協議会、敦賀交通安全協会美浜支部、敦賀警察署、美浜交番の方々が出席し、今年1年間の交通安全を祈願しました。

戸嶋町長は「皆さんのご尽力をいただきながら、事故のない平和な1年になることを願う」と述べていました。

↓耳川に向けて一斉放水を行う美浜消防団



防火・防災を祈って 美浜消防団出初式

1月11日に、美浜消防団出初式が耳川左岸等で行われました。

式は、町消防職員及び消防団員の士気を高めることや町民への防火啓発を目的として毎年実施されています。

式では、各分団の消防団員が耳川へ向けて一斉放水を行った後、はあとびで観閲式が行われ、敦賀美方消防組合副管理者の戸嶋町長から観閲を受けました。

↑戸嶋町長から観閲を受ける美浜消防団の団員たち

まちウォッチング watching



↓絵画を制作した小川氏（左）と寄贈を受けた戸嶋町長（右）



古里の景色を絵画に残したい 「彌美神社 王の舞」絵画を寄贈

12月23日に、小川静枝氏（おおい町在住・麻生出身）が彌美神社の王の舞を描いた絵画を町に寄贈しました。

小川氏は長年絵画制作をされており、今回古里の伝統を絵に残し、町に寄贈したいという思いから80号の大作を2年の歳月をかけて制作し、寄贈されたものです。

贈呈式で、小川氏は「寄贈を受けていただき感謝している。たくさんの人々に見てもらいたい」と話されていました。

↓まな板の上で鯖をさばく渡邊京矢さん（左）と志賀雅仁さん（右）



今年の大漁を祈願 板の魚の儀

1月1日に、板の魚の儀が稻荷神社（日向）で行われました。

この神事は、その年の海上安全と豊漁を祈願するために毎年元旦に行われているものです。

区民約50人が見守る中「若い衆」と呼ばれる袴姿の児童2人が、今年の恵方の南南東を向き「大漁、大漁、大漁」と声をあげ、板の上の鯖を見事にさばきました。



8. 職員手当 (令和7年4月1日現在)

区分	内 容
扶養手当(月額)	子 11,500円 ※満16歳年度初めから満22歳年度末までの子1人につき、5,000円を加算 配偶者 3,000円 父母等 6,500円
住居手当(月額)	賃貸住宅に居住する職員で16,000円を超える家賃の額に応じ、最高28,000円まで
通勤手当(月額)	<通勤のため公共交通機関等を利用> 1か月当たりの通勤に要する運賃等の額に相当する額(運賃等相当額)が ①55,000円以内の場合→運賃等相当額 ②55,000円を超える場合→55,000円に支給単位期間の月数を乗じて得た額 <通勤のため自動車を利用> 通勤距離2km以上で距離に応じて2,000円から31,600円まで
宿日直手当(1回)	4,400円 ※5時間未満の勤務の場合 2,200円
管理職手当(月額)	参事級、統括幹、課長級 39,700円~77,000円

9. 特別職の給料、報酬等 (令和7年4月1日現在)

区分	町 長	副町長	教育長	議 長	副議長	議 員
給料・報酬月額	850,000円	670,000円	560,000円	300,000円	245,000円	235,000円
期末手当支給割合	3.45月分			4.5月分		

※期末手当は、給料・報酬月額に役職加算を乗じたものを基礎額とします。

※上記の公表金額は、税や各種保険料等を引く前の金額で、いわゆる手取り額ではありません。

10. 部門別職員数 (令和7年4月1日現在)

区分	職 員 数		対前年増減数	
	部 門	令和6年	令和7年	
一般行政	議 会	3	3	
	総務・企画	39	42	3
	税 务	7	6	▲1
	民 生	47	42	▲5
	衛 生	10	11	1
	労 働	0	0	
	農林水産	8	8	
	商 工	8	9	1
	土 木	10	7	▲3
	小 計	132	128	▲4
特別行政	教 育	25	25	
	消 防	0	0	
	小 計	25	25	
公営企業等	水 道	3	4	1
	下水道	4	4	
	その他の	5	4	▲1
	小 計	12	12	
総 合 計		169	165	▲4

※条例に定められている職員定数は250人

11. 職員数の推移状況 (令和7年4月1日現在)

区分	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
職 員 数	171人	170人	169人	165人
対前年増減数	▲9	▲1	▲1	▲4

美浜町人事行政の運営等の状況を公表します

町では、人事行政について、町民の皆さんに運営状況を明らかにしながら、更なる適正化を進めています。

条例や町議会における予算の審議を通じて公表していることとあわせて、町民の皆さんにより一層ご理解いただけます。今月号では人事行政の運営等の状況をお知らせします。

※お問い合わせ先

町総務課(担当・上光) ☎32-6700

1. 人件費 (普通会計決算) 人口は令和7年3月31日現在

区分	住民基本台帳人口	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	5年度(参考)
令和6年度	8,627人	117億8,097万円	16億7,695万円	14.2%	13.3%

※普通会計とは、一般会計に診療所事業特別会計と道路用地取得事業特別会計を加えたものです。

2. 職員給与費 (普通会計決算)

区分	職員数(A)	給 与 費				1人当たり 給与費(B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
令和6年度	162人	5億5,088万円	9,156万円	2億2,230万円	8億6,473万円	534万円

※特別職及び公営企業等会計部門を除く。

3. ラスパイレス指数 (令和7年4月1日現在)

区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
ラスパイレス指数	93.0	93.3	93.7	94.8

※ラスパイレス指数とは、国の給料を100とした場合における美浜町の給料の指標です。

4. 初任給 (令和7年4月1日現在)

区分		美浜町	福井県	国
		大学卒	225,600円	220,000円
一般行政職	大学卒	213,600円	188,000円	188,000円
	高校卒	93.3	93.7	94.8

5. 学歴・経験年数別平均給料月額 (令和7年4月1日現在)

区分	経験年数10年		経験年数15年		経験年数20年	
	一般行政職	大学卒	一般行政職	大学卒	一般行政職	大学卒
一般行政職	大学卒	277,600円	307,700円	338,600円	307,700円	338,600円
	高校卒	261,300円	282,600円	296,600円	282,600円	296,600円

6. 平均給料・平均給与月額及び平均年齢 (令和7年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	310,200円	359,672円	42.1歳

※給与月額は、給料月額に職員手当の額を加えたものです。

7. 期末・勤勉手当 (令和6年度支給割合)

区分	6月期	12月期	計
期 末 手 当	1.25 月分	1.25 月分	2.5 月分
勤 勉 手 当	1.05 月分	1.05 月分	2.1 月分

みはまのまなび通信

vol.8

繋がり、広がる みはまのまなび

美浜発電所の状況について

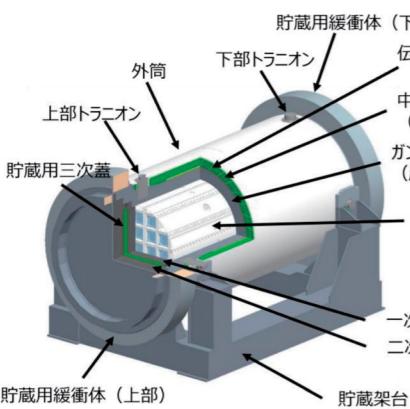


美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	運転中(令和7年6月18日～)

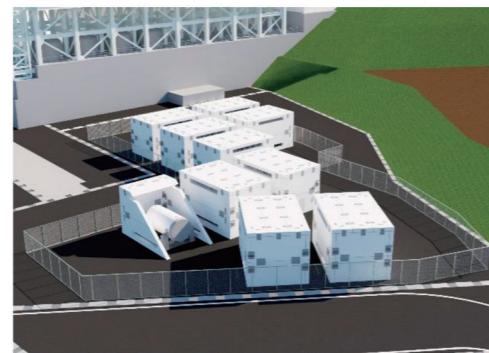


↑乾式貯蔵施設設置予定場所を確認する委員

答③ 乾式貯蔵容器については、容器表面で1時間あたり2ミリシーベルト以下、容器表面から1m離れた場所で1時間当たり0.1ミリシーベルト以下という基準があり、これを満足するように容器の設計がなされている。容器の健全性について



↑乾式貯蔵容器の構造



↑乾式貯蔵施設の外観

今回の委員会では、日本原子力研究開発機構からもんじゅの現状等について、原子力規制委員会が、関西電力(株)美浜原子力PRセンターで開催されました。

また、説明後に発電所構内へ移動し、美浜発電所の後継機設置検討に係る自主的な現地調査の概要や使用済燃料乾式貯蔵施設設置予定場所等について報告を受けました。

委員会での主な質疑は、次のとおりです。

問1 乾式貯蔵容器の貯蔵用緩衝体に関する説明があつたが、免振装置のようないくつかの構造を有しているのか。

答1 貯蔵用緩衝体については、免振装置のようないくつかの動的機器ではなく、金属等の固体状のものである。

また、設計上の耐用年数については、60年を設計条件として評価している。

問2 貯蔵期間として最大60年を想定しているということか。

答2 この60年というのは、あくまで安全性の確認評価を行う上で、前提条件であり、実際に何年間保管するかどうかは、関西電力が事業者として判断する事項である。

問3 乾式貯蔵容器及び乾式貯蔵施設周辺の放射線監視などのように行うのか。

答3 乾式貯蔵容器については、

第226回美浜町原子力環境安全監視委員会を開催

12月23日に、第226回美浜町原子力環境安全監視委員会が、関西電力(株)美浜原子力PRセンターで開催されました。

今回の委員会では、日本原子力研究所の使用済燃料乾式貯蔵施設設置変更許可申請に対する審査結果について、関西電力から美浜発電所の現状等について報告を受けました。

また、説明後に発電所構内へ移動し、美浜発電所の後継機設置検討に係る自主的な現地調査の概要や使用済燃料乾式貯蔵施設設置予定場所等について報告を受けました。

委員会での主な質疑は、次のとおりです。



↑3校合同学習にスタッフが参加し、生徒と共にアイデアを膨らます様子



↑全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会（広島開催）での様子

年の瀬、町内の小学校の先生と「みはまのまなび」のスタッフが集まり、今年度の振り返りと来年度への展望、教育まちづくりの現場で見えてきた子どもたちの成長とまちの変化をテーマに座談会を行いました。今年度の、最も大きな変化は「誰かに言われたから」ではなく、子どもたちが自ら動き出す姿や、学校と社会教育が連携する場面が増えたことです。

小学校で取り組んだ海ごみ探究を、中学進学後も「続けた」とあります。サンの授業スライドを参考に学校の資料を一から作り直した場面もありました。こうした行動は、学校で生まれた問い合わせを地域やサンで深め、再び学校へ持ち帰る——学びが点で終わらず、地域で循環し始めている結果です。

昨年、美浜町の教育まちづくりの実践が評価され、総合学習の全国協議会で、登壇の機会もありました。「ふるさと教育」や「元気プロジェクト」を起点に広がる「人づくり」の手応えを、改めて感じた1年でした。

藤村 祐希
(サンの授業担当)
より良く生きるために「ワクワクセンター」を高める授業・機会を作っています。今年も楽しみましょう！



↑座談会の様子
(左から、大野教諭・安重氏・平城教諭・藤村氏)

「公設塾」は まちの接着剤



藤村 祐希
(サンの授業担当)
より良く生きるために「ワクワクセンター」を高める授業・機会を作っています。今年も楽しみましょう！



サン塾生の祖母であり、町教育委員の渡邊悦子さん（日向）



ドキュメンタリー番組の完成上映会を皆さんと！
MMネットと約1年かけて制作した、Kaiに密着した番組の上映会を2/28（土）、「はあとぴあ」で開催します！ぜひ来てね！

おかげり美浜
完成上映会

教育・まちづくりについて感じたことを教えてください。左記二次元コードからアンケートにご協力ををお願いいたします。
今後の参考とさせていただきます。

フリーコーナー Free space

教育・まちづくりについて感じたことを教えてください。左記二次元コードからアンケートにご協力ををお願いいたします。
今後の参考とさせていただきます。

お問い合わせ

放課後教室サン
学びコミュニティ Kai
050-5482-3342
(担当:和田)

まちづくり推進課
シナップスプロジェクト推進室
32-6701
(担当:久木)



WEB INSTAGRAM YOUTUBE

みはまシナップスプロジェクトって？



SYNAPSE
みはまシナップスプロジェクト

JR美浜駅～なびあすを舞台に、3つのテーマをもとに「美浜らしいにぎわい」を育てるプロジェクトが進行中。

- 1 学びと挑戦を育む "人づくり"
- 2 優しい回遊空間を創る "空間づくり"
- 3 共創の軸線を貫く "コンテンツづくり"



サンやKaiの活動も"人づくり"の一環。町の未来を、みんなで少しづつ形にしていきましょう！